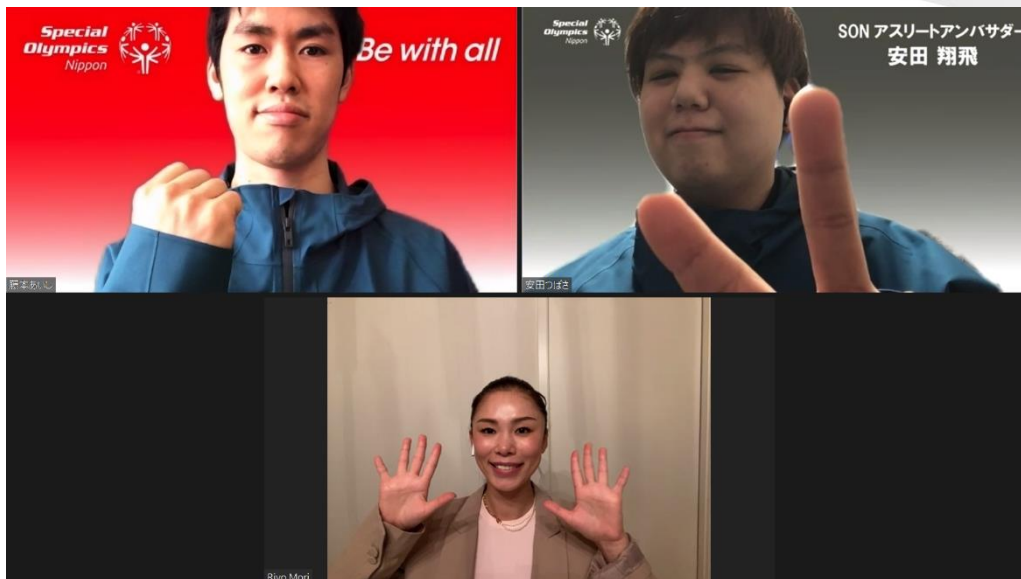


アスリートアンバサダー活動
インタビュー第5弾
森理世さん



藤本「それでは、これからインタビューを始めます。よろしくお願いします。」

森さん「よろしくお願いします。」

藤本 —SO に入ったきっかけは何ですか？



SO 日本に参加させていただいたきっかけは、2009 年に戻りまして、すごい月日が経ちました。2009 年にありました、アイダホの冬季世界大会の日本選手団結団式に、初めてドリームサポーターとして参加させていただいたのがきっかけなんですけれども。スペシャルオリンピクスに初めて参加させていただいて、規模の大きさだったりとか、アスリートの皆さんや関係者の皆さんの熱い想いだったり、やる気がみなぎるのが体中から、オーラとして出ている、その雰囲気圧倒されたことを覚えています。

安田 —印象に残っているアスリートとの思い出はありますか？

そうですね、いろいろ思い出がたくさんあるので、ひとつに絞ることが難しいと思うんですが。2016 年に冬季ナショナルゲームが新潟で開催されたんですけども、その時にユニファイドスポーツで、フィギュアスケートのアスリートの皆さんと一緒に、演技をさせていただきました。生まれて初めて氷の上で、スケート靴を履いて、上がるという練習からしまして、アスリートの皆さんの足を引っ張らないように、ひそかに練習を始めて、最終的に、新潟まで何度か行かせていただいて、こそこそ練習を頑張っていました。本番当日はですね、大勢の皆さまの前で、アスリートの皆さんと一緒にユニファイドスポーツという形で、演技を披露させていただいたのが、すごく思い出に残っているエピソードのひとつです。とっても緊張して、、、ある意味ですね、ミスユニバースの世界大会よりも緊張しまして（笑）。転ばずに、最後まで演技ができたので、「あー皆さんの足を引っ張らずによかったな。。。」と。ああやって、新しいことに真剣に向かって、挑戦するきっかけをくださったのは SON だったので、本当に今思い出しても感謝の気持ちでいっぱいですし、とっても私の心の中に残っている思い出です。

安田：ありがとうございます。本当はもう一人アスリートアンバサダーで参加する予定だったんですが、今日は欠席になって。久しぶりのインタビューなので、2人ともとても緊張しています（笑）。

森さん：私も緊張しているので、みんなで緊張をほぐしながら進めていきましょう！



藤本 —IRM はなんですか？（ダンススクールの名称について）

「I」は私の母の「いくこ」の名前の頭文字の「I」、「R」は「りよ」の「R」、「M」は「もり」で、I.R.M.ダンスアカデミーです。私と母で、ダンススクールを経営しております。母の名前、私の名前、森、ということで、I.R.M.です。

安田 —広島でバスケットボール大会があって、その時に森さんとチームのメンバーで写真を撮らせてもらいました。全国のアスリートが集まった大会だったんですが、森さんから見てどんな印象を受けましたか？

すごく覚えているんですけども、まず広島に初めて行かせていただいたということと、バスケットのアスリートの皆さんの試合を間近でみさせていただくことも初めてだったので、私にとっていろいろ新鮮な旅であり、思い出でした。皆さんの本当に機敏な動きと、迅速な決断力で、ボールを追いかけて、ゴールを目指して走っていく姿をみて、格好いいなと思ったし、その後、アスリートの皆さんとお話させていただく機会もあったし。皆さん本当に一つ一つの動きを丁寧に、練習も頑張っているし、なによりもいい結果を出したいという、熱い思いに心打たれたことを覚えています。

安田：広島の時、僕もキャプテンで出させてもらったんですけど、決勝で奈良に負けて、それで泣きじゃくってしまって、馬鹿垂れと言われたのを覚えています（笑）。

いえいえ、頑張ったから涙が出るんですもんね。素晴らしいと思います！

藤本 —森さんが一番印象に残った大会はなんですか？

日本国内のナショナルゲームや、世界大会、いったいどのくらいの大会に参加させていただいたのかなと、年表を見て思い返していたんですが、結構な数の大会に参加させていただいて。先ほど言ったように新潟大会は、アスリートの皆さんとの思い出もたくさんあったので捨てがたいんですが、初めて日本選手団の皆さんの応援に世界大会に行かせていただいたのが、2011年のアテネ、ギリシャで行われた大会だったんですけども。その日本選手団の皆さんが、たくさんいる大勢の世界大会に参加しているアスリートの皆さんの中で、輝いて行進をされていて。それでいてさまざまなゲームで活躍されて、メダルもたくさんとってという、その姿を初めてドリームサポーターとして参加させていただいた世界大会だったので、もう驚き、びっくり！こんなに世界の舞台上で、前を向いて戦っている日本人たちがこんなにいるんだなと、すごく誇りに思ったし、もっともっと日本の皆さんに、このニュースを知っていただきたいなと。ドリームサポーターとしての役割も、気を引き締めて参加させていただきたいなと思ったきっかけでもあるので。全部どの大会も思い出に残っていますが、初めて行かせていただいた世界大会で、日本のアスリートがどれだけ活躍したか、それを間近でみさせていただいて、すごく心を打たれたし、この活動をもっと日本中の



皆さんに知っていただきたいなと。ドリームサポーターとして身が引き締まるといいますか、そして、もともと皆さんに知っていただきたいなという「夢」も、“ドリーム”サポーターですからね、その夢も持てた、そんな大会でした。

安田 ー2007年ユニバース世界大会で優勝されたときに、ユニバース関係やSO関係で行った活動はなにかありましたか？

ミスユニバースは1年間の任期活動がありまして、さまざまなチャリティー活動だったりとか、幅広いお仕事をさせていただけるんですけども。やっぱり、スペシャルオリンピックスという知名度は、ミスユニバースの本部がアメリカにあるので、アメリカで活動することが多かったんですけども、やっぱりすごく知名度は高かったです。私も、もちろんミスユニバースとして、スペシャルオリンピックスの活動には参加させていただきましてし、あとは、ベストバディという活動も一緒にさせていただきましたし。あともうひとつ、プラットフォームと言いまして、ミスユニバースが1年間、プラットフォームを使っていろいろな活動をするんですけども、そのひとつに、エイズ・HIVの啓蒙活動に参加するということがあるんですが、そこで病気のことだったりとか世界の現状だったり、エイズ・HIVのスポークスウーマンとして勉強させていただいたり、その知識や啓蒙活動を積極的に参加させていただいた、そんな1年間の活動でした。もちろん、スペシャルオリンピックスはですね、世界で知名度が高かったです、ということをここでお伝えしようかなと思いました。



安田：アメリカでは、やっぱり日本に比べて知名度が高いんですね。

そうですね、驚くことに知名度は高いですし、Tシャツを着て歩いている方とかを見つけると、テンションが高くなってしまいますよね！きっと、地元チームに参加されているアスリートなのかな～って思ったりだとか、こちらからいきなり声をかけると怪しまれてしまうかもしれないですが、日本のドリームサポーターなんですよ！と、話しかけてみたくなったり（笑）。それくらい、地域になじんでいる活動だと思います。

藤本 ー好きな四字熟語は何ですか？

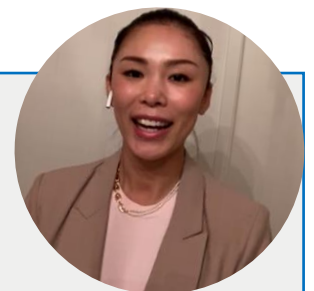
好きな四字熟語？いきなりですね！

ごめんなさい、今急に聞かれて頭の中が真っ白になっちゃった。逆に聞いてもいいですか？
愛史くんの好きな四字熟語は何ですか？

藤本：僕が言いますと、「百発百中」か、もう一つは「花鳥風月」。

わーすごいですね！それはアスリートとして、四字熟語はゲームだったり、練習とかに役立つというか、影響していますか？そういうことを頭に置いて、練習しているんですか？

藤本：母から練習をするときに、「百発百中でやってください」と言われまして、四字熟語でグッと刺さったのは「百発百中」かなと思いました。



なるほどね！じゃあ私も真似しようかな、「百発百中」ということで（笑）。
狙った的を射るといふ。

安田：愛史さんもバスケをやっているんで、「百発百中」はあってますね！

百発百中でゴールを入れてください！

藤本：（笑）

安田：それは無理ですね（笑）。百発百中は、たぶん無理です（笑）。

練習に練習を重ねてね（笑）。絶対に外さないシュートっていうやつですね！

藤本：そうですね！



安田 ー海外で今生活されていると思うのですが、YouTubeとか動画サイトはご覧になったりしますか？

あまり、、、正直見たりしないですね。今ね、YouTuberという職業がとても人気で、いろいろな番組をいろいろな方が自分で持たれているみたいですけど、私はあまり見る機会がなくてですね。機会があったら見たいと思います！

安田：そうなんですね。僕はYouTuber好きなので、けっこう見たりするんですけど。おすすめですよ、ストレス発散にもいいですし。

あ、そうなんですね！じゃあ、見たいと思います。

安田：おすすめは、HIKAKINさんかフィッシャーズさん。フィッシャーズさんはグループなんですけど、そのお二人はよく見ます。なので、おすすめです。

おすすめありがとうございます。ぜひ！

安田 ー海外生活で、今大変なことはなんですか？

今、アメリカのサンフランシスコにいるんですけど、やはりコロナ禍ということで、それぞれルールを守りながら生活をしなければならないんですけども。ま、これはアメリカに限らず日本も同じだと思いますけども。そうですね、、、だいぶ生活は元に戻りつつこちらはあります。ほぼ元に戻ってはいますけども、けどマスクをちゃんとしてということと、レストランに行ったり、お店行く時とかは、ワクチン証明書というものを見せないと、お店に入れなかったり。なので、ワクチンを打てない方もいらっしゃるし、打たない選択をされている方もいるので。そういう方は、どうやったらレストランに入れるの？っていうことになるじゃないですか。そこで、平等ではないよ、と思っている方もいる

し、自由にレストランに入れなくなってしまったということで、食事を楽しめなくなってしまった方もなかにはいるので。そういった中で、本当に数年前までは、好きな食べ物をレストランに行って食べたり、お店に行ったり、映画に行ったり、当たり前のようにできていたんですけども、ワクチンを打たないと、自分の行動を制限されてしまうということが大変なのかなと思います。

安田 —アメリカでの SO の知名度は高いと思うんですけど、パーセントでいうと、今 100%ではないと思いますが、より多くの人知っているという感じですか？

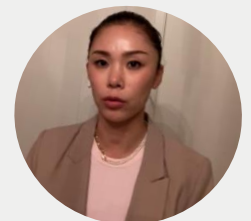
そうですね、100%全員がというのは調べてみないとわからないですけども、アメリカの人口も多いですし、より多様性というものを大切にしている国だと思うので。やっぱり自分たちの個性だったり、才能を活かせる場所がいろいろとあるんですよね。その中の1つがスペシャルオリンピックスだと思うし、オリンピック、パラリンピック、そしてスペシャルオリンピックスという流れで、皆さん同じように応援してくださっていますし。なんだろう、こう、自分を表現する場が、スペシャルオリンピックスに限らず、アメリカ、海外は多いのかなという気がします。でもやっぱり、SON さんもすごくアスリート、そしてアスリートに限らず、より多くの方々に自分たちの個性だったり、長所というものを披露したり、試せる場所を提供してくださるので、素晴らしいなと本当に思うし。だからこういった活動を、ほかの国と比べてというのは置いておいて、日本の中で、良いペースで広めていけたらいいなと、ドリームサポーターとして思いますし、良いところは真似して、日本の良さは日本でキープしてというのが一番いいと思います。ま、アメリカに限定して話してしまうと、今言ったように知名度はすごく高いし、T シャツを着て歩いている方もいらっしゃるくらい、きっとご家族なのかなとか、アスリートなのかなとか、SO と触れ合う場が正直多いかもしれないですね。

藤本 —SO のアスリートで一番会いたい人はだれですか？

これも難しい質問ですね。大勢のアスリートの中で、この方！っていうのは、、、みなさんにお会いしたいですし、でも今こうしてせっかくお二人と、日本とアメリカでこうやってお話できているじゃないですか。まるで同じ空間にいるみたいに、国を超えてお話できているので、翔飛くんと愛史くんに会いたいです！実際に。

藤本・安田：ありがとうございます！！

安田：僕もお久しぶりに会いたいです。



ね、本当にね。今こうした時代で、直接お会いできなくて寂しいですけども、でも逆に考えると、今までこういった世界中に、どこに誰がいても時間を合わせて、同じ時間を共有できるのは素晴らしいと思うし、今こうして画面を通して、お二人にお会いできているので、次は実際にお会いして、またインタビューをしていただきたいです！（笑）

安田：勘弁してください（笑）。今日本当に緊張していて、やばいんです（笑）。心臓が止まりそうなくらい。。

藤本：（笑）

いえいえ、お上手ですよ！

藤本 一森さんの応援ソングはなんですか？

応援ソング？ やっぱり MISIA さんじゃないですか！

藤本・安田：ああ！そうですね！



SON のために歌われている、テーマソングを。やっぱり、自分の頑張りたいなとか、今ここ踏ん張り時だぞという時に、MISIA さんのような美しい歌声を聞くと、元気をもらえるというか、やる気が出るから。やっぱり音楽だったり、歌声だったり、リズムだったり、すごく大切ですよね。きっとアスリートのお二人も練習している時だったり、バスケのゲームの前に気分を高める時、聞いたりするんじゃないですか？

藤本：そうですね。

安田：そうですね、聞く時と聞かない時がありますが、基本聞くようにはしています。

なんか、こう、高まるんですか？ やるぞ！勝つぞ！っていう。



安田：そうですね。MISIA さんも聞くんですけど、いろんな曲聞いたりして、仲間としゃべったり、「こういう時はこうしようね」とか話したりすると、さあがんばるぞ！ってなったり。さっきも話しましたが、負けた時は泣いたりとか。でも最近は、コロナで大会とかもなくなってますし、練習も島根は中止になっているので、なかなか仲間と接することができていないんですけど。ま、仕事の行き帰りとかには、必ず聞くようにはしています。高ぶってから、そのやる気を出して、仕事をしています。終わった後は、そのリフレッシュのために音楽を聞いてっていうのを必ず仕事の時はしています。

うんうん。私も参考にさせていただきます。

藤本：僕は MISIA さんに、福岡の大会でお会いしたことがあって、びっくりしましたけど。

僕の応援ソングは、やっぱり、AKB48 の「光と影の日々」ですね。

ふーん！なんかこう、後ろから「頑張れ〜！」って言ってもらえているような気分になるんですか？

藤本：それはそうですけど、歌詞の中に「あきらめなければきっと空は晴れて来る」というところが、自分としてもちゃんと、あきらめなくて頑張れるかなと思って、応援ソングにピッタリの曲かなと思います。

うんうん。今度、私も聞かせてもらおうと思います。

藤本 ー最近つらいことはありますか？ 嬉しいことはありますか？

そうですね、つらいことは、日本の家族と2年以上会えていないのがちょっとつらいですね。コロナでやっぱり、日本に帰国したりするのが難しくなっちゃったりとか、日本の家族もアメリカに来ることがすごく難しい状況なので、お互い会いたいけれども会えない。電話でお話することが精一杯という状況が2年以上も続いているので、やっぱり自分の家族に会えないのはつらいですよ。これがつらいことですかね。

藤本：わかります。

皆さんもお友達だとか、もちろん大会が中止されていることが多いじゃないですか。前みたいにね、たくさん応援も駆けつけて、アスリートの皆さんが集まってということも難しくなっているので、つらいですよ。

藤本：はい、つらいです。

そうですね。でもやっぱり、嬉しいことに集中した方がいいですよ。なんか寂しいこととか、悲しいことも、そういうことがあって、次に頑張ろうと思うきっかけにして。こういう状況では夢をもったりとか、「次なにしようかな」って先のことをワクワクしながら考えたほうがいいですよ！

藤本：そうですね。

私は、お友達に会えないのも寂しいですけど、やっぱり日本の家族だったりとか、SON 関係者の皆さん、アスリートの皆さん、有森さん。。みんなにお会いしたいです。飛んでいけないから寂しいですが、、逆に嬉しいこと。今嬉しいことは10月に出産しまして。

藤本：うそ！

安田：そうでしたね！おめでとうございます！

はい！家族が増えました！今、赤ちゃんがいるんですけどね、それが嬉しかったことかなと思います。次、皆さんにお会いする時にはミニ（赤ちゃん）を連れて、応援しにいきますね！

藤本：（お子さんの）名前とか決まっているんですか？

もちろん！名前も決めて。アメリカで生まれたので、英語の名前と日本語の名前がついているんですけど。

藤本：実は僕も、赤ちゃんの時は、アメリカで生まれまして。

うそ！そうなの？ 知らなかったです！ それプロフィールに加えてください（笑）。え、どちらで？ 初耳だよ？ 翔飛くん。



安田：いや、僕は前の時に聞いていました！

藤本：僕は、アメリカのテキサス、ダラスで生まれました。
それで、ニックネームを言いますと、「ジャスティン」と呼ばれております。

おお、カウボーイの街！愛史くん、ジャスティンだったんだ！

安田：それは初耳だわ（笑）！

早く言ってよ、ジャスティン！！

藤本：（爆笑）

今日、私も（みんなのこと）引き出してない？（笑）

安田：今日久しぶりなもので、、、（笑）。力不足で申し訳ないです。本当は、もう一人里末さんがいると、うまく引き出せることがあるんですけど。

いえいえ、翔飛くんとっても上手で、今とても楽しい気分させていただいております！ありがとうございます。

安田：あまり褒めると調子にのるので、やめてください（笑）。

調子にのっちゃってください！（笑）



藤本 一森さんは憧れている有名人はだれですか？

えー難しい！愛史くんのフリーの質問、ドキドキするよ（笑）。

藤本・安田：（爆笑）！

日本国内ですか？ それともハリウッドも含めてですか？

藤本：芸能人の中で、俳優とか、バラエティとかタレントとか。

えー難しい。逆にまた質問してもいいですか？ 愛史くんはいるんですか？

藤本：僕は、アイドル。

アイドル！翔飛くんは？



安田：えー、しいて言うなら誰だろう。。。最近、かわいい子がたくさんで芸能人も。
本田翼ちゃんとか。

へー！私、歌手なんですけど、いいですか。日本の方じゃなくて、セレーナ・ゴメスってわかります？

藤本・安田：知らないですね。

知らない？ セレーナ・ゴメスさんは、歌手であり女優なんですけど。なんで最近、彼女にはまっているかというところ、彼女のお料理番組がありまして、それをたまたま見たら、すごく料理が下手なんです。けど、いろんな先生に習って、どんどん上手になっていくんですね、頑張るんですよ！その姿を毎週見るのが楽しみで、応援しています。コロナ禍になったので、それこそテレビ収録の方法も、今日みたいなこういう形（オンライン）で、進めているんですよ。お料理の先生は、こういった画面に出てきて、セレーナ・ゴメスさんは自宅のキッチンに立って、リモートで料理を習うんです。それがまた新鮮なやり方で、面白くて、それを最近は見えています。

安田：おお！

藤本：ちなみに僕は、憧れている芸能人を言いますと、指原莉乃さんが憧れております。めちゃくちゃ会いたくてたまらないです！

そうなんですか！すごい、告白してくれましたね、最後に（笑）。
会いたいなと思っていると会えるかもしれないので、祈っててください！

藤本：わかりました！

藤本 —最後にありますが、アスリートアンバサダーにアドバイスはありますか？

自分たちの活動をより多くの方々に広めていく、知っていただくことが、アンバサダーの役目だと思うので。一番は自分たちがこの大会だったり、活動を楽しむ！ということだと思います。自分たちが楽しんで、自分たちがたくさんの思い出を作ることによって、「この想いを共有したいな」という気持ちにつながると思うので、お二人がね、スペシャルオリンピックス日本の一員として、誇りに思うような活動を続けていただいて、自分自身楽しむことが大切だと思います。

藤本・安田：はい！ありがとうございます！



藤本「これでインタビューを終わりにしたいと思います。インタビューをやってみての感想をひと言、
本日はお忙しい中、ありがとうございました。SOに入ったきっかけとか、フリーの質問もしまして、
本当にプレッシャーが半端なかったです。たくさんして緊張しました。」

森さん「本当ですか？ すごくのびのびとされていたと思いますよ（笑）！」



藤本・安田（笑）

安田「のびのびすぎ（笑）！」

森さん「楽しかったですよね！！すごい面白し、楽しかったです！ちゃんと私の想い、SON が大好きだっていうことが伝わりましたでしょうか？」

藤本・安田「伝わりました！」

藤本：絆が深まったような感じがします。

森さん「それですよ！それぞれ！絆っていい言葉ですね。絆が深まってよかったです。」

安田「今日はお忙しい中、ありがとうございました。今日はちょっとの時間だったんですけど、楽しくお話できてよかったです。またお会いできたら話しかけたいと思いますので、またお話ししましょう。よろしく願います。ありがとうございました！」

藤本「森さんから今日の感想をお願いします。」

森さん「はい。今日は画面を通してですが、お二人に久しぶりにお会いすることができて、とっても嬉しかったです。そして、スペシャルオリンピックスさんとの関わりを、私自身もスタートから、そして今までを振り返るような質問をしていただいて、自分も思い出すことができたし、とても楽しかったです。そして今このような社会の状況ですけども、アンバサダーとして、私たちが見てきた、経験してきた、この想いをですね、より多くの方々にいろいろな形で、新しい形で知っていただきたいなと、今日はより思いました。そして、愛史くんがおっしゃったように、絆が深まったと思います。いろいろな質問、私も楽しくお話させていただきました。今日はお誘いいただき本当にありがとうございました。」

みんな「ありがとうございました！」

安田「それでは今日は、インタビューのお時間をいただき誠にありがとうございました。また大会などでお会いできること楽しみにしています。今日はありがとうございました！」

森さん「はい！ありがとうございました！」

みんな「ありがとうございました！」

